

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
焼津南東地区

平成23年6月

静岡県焼津市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	津波による避難時間の短縮	分	10	5	5	確定 見込み ●	○	あり なし	5	H23年5月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	津波避難ビルとなるコミュニティー防災センターの建設により、避難時間が短縮できた。
指標2	狹隘道路の解消	箇所	20	10	4	確定 見込み ●	○	あり なし	4	H23年5月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	道路事業及び土地区画整理事業による道路築造により、狹隘道路が減少した。
指標3	老朽家屋の低減	%	55	45	37	確定 見込み ●	○	あり なし	36	H22年3月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	土地区画整理事業及び老朽家屋更新事業による家屋移転により、老朽家屋が低減した。
指標4	冠水被害箇所数の低減	箇所	11	7	2	確定 見込み ●	○	あり なし	2	H23年5月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	土地区画整理事業及び水路改良事業の進捗や排水ポンプ場整備事業の完了により冠水箇所数が低減した。
指標5	定住人口の増	人	17,807	18,507	18,368	確定 見込み ●	△	あり なし ●	18,469	H22年3月	△	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	目標値には達しなかったが、人口は順調に増加したため、事業の効果はあったと言える。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	治水安全度が向上した面積	ha (%)	101.9 (25.7)	/	188.9 (41.7)	確定 見込み ●	/	/	188.9 (41.7)	H22年3月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	土地区画整理事業及び水路改良事業の進捗や排水ポンプ場整備事業の完了により向上した面積が増加した。
その他の数値指標2	市人口に占める地区内人口の割合	%	14.85	/	15.27	確定 見込み ●	/	/	15.35	H22年3月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	事業の相乗効果により、ハード・ソフト両面での防災機能が向上し、安心して暮らせるゆとりある居住環境作りが推進され、周辺市街地に比べ地区内の人口増加が促進された。
その他の数値指標3			/	/	/	確定 見込み ●	/	/	/	H 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)	実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項	
<p>・成果を持続させるために行う方策</p>	地域の拠点的な避難所(避難地)の整備 道路整備事業、区画整理事業による骨格的な避難路の整備	公園整備事業により、防災公園となる石津西公園の整備を進めており、土地区画整理事業や道路整備事業により、骨格的な避難路となる都市計画道路の整備を進めている。	地域の拠点的な避難地や避難路の整備が進んでいる。(実施中)	土地区画整理事業により骨格的な避難路となる都市計画道路の整備を継続的に進めていく。 防災公園となる石津西公園の整備を継続的に進めていく。
	身近な避難地となる公園の整備 区画整理事業による行き止まり道路の低減 道路整備事業等による身近な避難路の整備	土地区画整理事業により、継続的に地区内の道路整備を進めている。	公身近な避難地となる公園の整備が進んでいる。 行き止まり道路の低減や身近な避難路の整備が進んでいる。(実施中)	土地区画整理事業により身近な避難路となる区画道路の整備を継続的に進めていく。
	排水ポンプ場の整備、河川改修事業、区画整理事業による冠水被害箇所の低減	土地区画整理事業、河川改修事業等により、継続的に地区内の整備を続けている。	身近な避難地となる公園の整備が進んでいる。 行き止まり道路の低減や身近な避難路の整備が進んでいる。(実施中)	土地区画整理事業により水路、道路側溝、宅地の整備を継続的に進めていく。
	区画整理の家屋移転に伴う老朽家屋の更新 市補助による家屋の耐震補強工事、家具の転倒防止 工事の推進	土地区画整理事業での家屋移転に伴い老朽家屋の更新を行った。 また、家屋の耐震補強に助成金を出すことにより、耐震補強を推進した。	地区内の老朽家屋の数を減少させることができた。	老朽家屋の更なる低減を図るため、土地区画整理事業を進めていく。
	「会下ノ島石津まちづくり協議会」「第13自治会内のコミュニティ防災センター建設委員会」等まちづくりを担う住民組織の活動を活性化することによる住民の自助、共助の意識啓発	「会下ノ島石津まちづくり協議会」を開催し、地域住民参加によるまちづくりの支援を行った。	地区住民の防災に対する意識が高まった。	「会下ノ島石津まちづくり協議会」については、今後も、地域住民参加によるまちづくり活動を支援していく。 また、地元住民に対し、災害時の対応力を高められるように市は後方支援を行っていく。
	地域のシンボル道路となる小川下小田線のデザイン 照明設置及び土地区画整理事業による生活関連施設 の集積を促進したことによる賑わいの創出とまちの 顔づくり	未実施(平成25年度以降に整備を予定している。)	同左	土地区画整理事業により、シンボル道路(小川下小田線)の整備を行い、商業施設の集積をしていく。
	区画整理事業によるゆとりある居住環境づくり	土地区画整理事業により、継続的に基盤整備を進めている。	ゆとりある居住環境づくりが進んでいる。(実施中)	土地区画整理事業によるゆとりある居住環境づくりを進めていく。
<p>改善策</p> <p>・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策</p>	ゆとりある居住環境づくり	道路事業や公園事業等により、焼津南東地区内の基盤整備整備を継続的に進めている。	ゆとりある居住環境づくりが進んでいる。(実施中)	ゆとりある居住環境づくりを進めていく。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

都市再生整備計画(精算報告)

やいづなんとうちく
焼津南東地区

しずおかけんやいづし
静岡県焼津市

平成22年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	静岡県	市町村名	焼津市	地区名	焼津南東地区	面積	453 ha
計画期間	平成	17	年度	～	平成	21	年度
交付期間	平成	17	年度	～	平成	21	年度

目標

日々のまちづくり(都市整備事業や住民のまちづくり活動)を通じて地域力を養い、災害時の対応力を高める『防災まちづくり』

目標1	骨格的な避難地・避難路の整備とこれと連動したまちの顔づくり
目標2	身近な避難地・避難路の整備による災害時の安全かつ迅速な避難の確保

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ・本地区はJR焼津駅から南に約3～4kmで2級河川黒石川の下流部に広がり、東は小川港に面する。無秩序な市街化により土地利用の混在化が進み、道路も狭小で災害時の緊急活動にも支障をきたしていた。こうした問題を解消するため、土地区画整理事業を計画し、組合施行の焼津南部(施行期間S62～H27)、公共施行の東小川(施行期間H6～H25)、会下ノ島石津(施行期間H11～H27)の3地区が事業施行中である。
- ・土地区画整理事業の進捗により道路、水路等の公共施設が次第に整備されたが、現在も地区内には、約900戸の未移転家屋が存在し、街区公園、区画道路、水路などの未整備箇所も多く、台風時の大雨ではたびたび冠水する地点もある。また、地域住民からは、地震時に倒壊の恐れ強い老朽家屋の建て替えのための早期事業化、行き止まり道路の解消などの要望が寄せられている。
- ・静岡県は、全域が地震防災対策強化地域に指定されており、予想される東海地震の震源区域に焼津市も含まれる。平成15年3月には、推定津波浸水区域も公表され、会下ノ島石津地区のほぼ全域、焼津南部地区の一部が同区域(安政東海地震想定時)に含まれる。津波や高潮への対策が必要とされているが、海岸近くでは低層の住宅が密集し避難するための道路が狭いなどの課題を多くかかえている。津波、地震など災害時の避難に関する住民の関心も高く、緊急避難のための身近な場所での津波避難ビル・避難地・避難路の確保が求められている。
- ・平成11年、焼津南部地区内の小川島田幹線(緊急輸送路に指定)沿いに焼津市消防防災センターを開設、本市の防災拠点として位置づけた。また、同路線沿いに防災公園(石津西公園、4.2ha、地区公園)を計画し、整備計画の策定にあたっては、地域住民参加のワーキンググループが大きな役割を果たした。
- ・東海地震説が発表されて、20数年が経過し、市民の防災意識や的確な行動力の低下が懸念されている。特に、新住民の流入が今後予想される当地区においては、新住民と旧住民の新たなコミュニティの形成とあわせ、住民の自助・共助による防災まちづくりの推進が必要とされている。

課題

1. 骨格的な避難地・避難路整備による防災都市構造の形成
2. 災害時における緊急避難可能な身近な避難地・避難路の確保
3. 冠水被害の解消による安全かつ迅速な避難の確保
4. 地震に伴う家屋の倒壊や家具の転倒防止による、人的被害の抑止
5. 住民の自助・共助による災害時の安全かつ迅速な避難
6. 焼津南東部の中心地形成による賑わい創出とまちの顔づくり
7. ゆとりある居住環境づくり

将来ビジョン(中長期)

(総合計画における将来ビジョン)

- 土地区画整理事業による都市基盤整備を適正に誘導し、地震や水害などの都市防災対策を進め、住居系、商業系、工業系の用途区分に応じた適正な市街地整備を進める。
- 街区公園、石津西公園(防災公園)など、身近な公園の整備を進め、ゆとりある住宅地を形成する。
- 住民が安全に避難できるよう、避難地・避難路の確保を図る。コミュニティ防災センター等の身近な防災拠点施設、避難場所となる公園、津波に対する緊急避難場所として津波避難ビルの整備を図る。民間建築物の耐震化を促進する。
- 地域の防災リーダーを育成するとともに、地域ごとに特色のある訓練内容や活動を充実し、自主防災組織の強化を図る。
- 雨水幹線や都市下水路などの計画的な整備と雨水流出抑制対策を進める。

(整備・開発及び保全の方針における将来ビジョン)

- 既成市街地において、街路・公園等の基盤施設が未整備のまま市街化が進行している東小川地区、会下ノ島石津地区においては、土地区画整理事業により街路・公園等の整備を図り、居住環境の向上を図る。
- 既成市街地と新市街地の側面のある焼津南部地区は土地区画整理事業により無秩序な開発を抑制し、住宅地を中心とする有効な土地利用を図る。
- 災害時の安全な避難のため、公園緑地を中心として広域避難地(二次避難地)、避難中継基地(一次避難地)及び避難路を、他の防災関連施設(病院、市役所、消防・警察等)及び避難時間等を配慮して、特に災害危険度の高い地区等に計画する。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
津波による避難時間の短縮	分	小川地区住民の津波に対する避難時間	津波に対する緊急避難場所としてコミュニティ防災センターの整備を図る。	10	H17	5	H21
狭隘道路の解消	箇所	地区内で2方向避難が確保されていない狭隘道路の路線数	安全かつ迅速な避難の上で問題とされている行き止まり狭隘道路の解消の程度を指標とする。	20	H17	10	H21
老朽家屋の低減	%	地震時の人的被害が予想される老朽化した家屋の数の割合	地震時の人的被害の最大の原因となっている家屋の倒壊を防止するため、老朽家屋の割合を指標とする。	55	H17	45	H21
冠水被害箇所数の低減	箇所	1年間に地区内で冠水被害が発生した地点の箇所数	台風、高潮等の災害時の安全かつ迅速な避難の大きな支障となっている冠水被害箇所の数を指標とする。	11	H17	7	H21
定住人口の増	人	事業期間内での定住人口の増加数。	地区の防災機能の向上により定住人口の増加を図る。	17807	H17	18507	H21

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	
<p>整備方針1（骨格的な避難地・避難路となるシンボル道路・防災公園等の整備と中心地形成）</p> <ul style="list-style-type: none"> 骨格的な避難路として機能するとともに、地域のシンボル道路となる3.5.42号小川下小田線（幅員16m）の整備を図り、生活関連施設の集積を促進することによって焼津東南部の中心地形成を図る。 シンボル道路は、植栽、カラー舗装、照明設備、などの整備により、歩行者優先の快適なショッピング空間の形成を図る。 防災公園に位置づけられる石津西公園の整備を図り、シンボル道路とあわせてまちの顔となる都市軸を形成する。 災害時の防災機能やまちづくり支援機能などを兼ね備えた地域交流センターの整備を推進するため、住民参加によって構想づくりを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画街路整備（関連事業／土地区画整理事業） シンボル道路整備（基幹事業／高質空間形成施設） 公園整備（関連事業／公園整備事業） 地域交流センター構想策定（提案事業／事業活用調査）
<p>整備方針2（身近な避難地・避難路の整備、行き止まり道路の解消、冠水被害の解消等による安全かつ迅速な避難の確保）</p> <ul style="list-style-type: none"> 区画道路の整備により、地区内に数多く存在する行き止まり道路を解消し、2方向避難を確保する。 また、狭隘道路の拡幅と老朽化した橋梁を架替えを行い、安全な避難路を整備する。 避難路整備にあたり、市道の拡幅及び電柱等の移転をおこなう。また、避難誘導標識の設置により安全かつ迅速な避難を確保する。 <p>・下流域の整備が完了している地区内の防災壕（水路）を整備し、冠水被害を解消することによって、台風や高潮の際の安全かつ迅速な避難を確保する。また、地震に伴う大規模火災時には防火用水として活用する。また、宅地整地を行い冠水被害を防止する。</p> <p>・石津港町排水ポンプ場を整備し、流域内の道路冠水、床上・床下浸水被害を軽減する。</p> <p>・立通り公園（0.17ha）と、与惣次公園（0.20ha）の整備により、震災などの直後に一時的に避難することができる身近な避難空間の確保を図るとともに、ゆとりある居住環境づくりを進める。</p> <p>・自治会の集会施設として利用されている公会堂を建て替え、津波避難ビルとして活用する。会下ノ島公会堂についてはコミュニティ防災センターとしての機能を確保する。</p> <p>・災害時の避難施設、防災拠点となる地域交流センター（大富公民館）の整備を行う。</p> <p>・大富公民館の建て替えに伴い、用地取得を行なう。</p> <p>・大富公民館の整備に伴い、老朽化した既存施設を解体する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 区画道路整備事業（基幹事業／都市再生土地区画整理） 市道上泓／川橋線（基幹事業／道路事業） 安全避難路整備事業（提案事業／地域創造支援事業） 避難誘導標識設置（基幹事業／地域生活基盤施設） 冠水対策事業（提案事業／地域創造支援事業） 石津港町排水ポンプ場整備事業（基幹事業／地域生活基盤施設） 弘の川改修事業（基幹事業／河川） 水路整備（基幹事業／都市再生土地区画整理） 街区公園整備（基幹事業／公園） コミュニティ防災センター整備（基幹事業／地域防災施設） 大富公民館の整備（基幹事業／高次都市施設） 公民館の用地取得（提案事業／地域創造支援事業） 老朽施設解体事業（提案事業／地域創造支援事業）
<p>整備方針3（建物の耐震化）</p> <ul style="list-style-type: none"> 小川保育園の耐震改修を図るため、公立保育所の用地取得を行う。 都市計画街路、区画道路の整備に伴い老朽家屋の更新を促進し、地震時の家屋の倒壊を防止する。 <p>・水道局配水場の整備を行い、災害時においても飲料水の安定供給を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 公立保育所の用地取得（提案事業／地域創造支援事業） 都市計画街路整備に伴う老朽家屋の移転（関連事業／土地区画整理事業） 区画道路整備に伴う老朽家屋の移転（基幹事業／都市再生土地区画整理） 老朽家屋更新事業（提案事業／地域創造支援事業） 弥豆島配水場配水池の整備（基幹事業／地域生活基盤施設）
<p>整備方針4（地域力を高めるコミュニティ活動の推進）</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災機能を備えた地域交流センター、災害時に一時的な避難地となる街区公園、津波避難ビルとしての機能を備えた公会堂などの整備にあたっては、住民参加による構想・計画づくりを進めることによって、「住民自助・共助」の地域防災意識の高揚を図るとともに、地域のネットワーク力を高める。 土地区画整理後の建築物のコントロールなどのハード整備から、防犯、ごみ処理、環境美化など、日常的な地域住民によるまちづくり活動を活性化することで、地域コミュニティのネットワーク力を高め、災害時における住民自助・共助の対応力を強化する。 防災マップ（全市域対象、H15.3作成）、防災まちづくり啓発マップ（地域内対象、今回作成）をもとに、図上避難訓練や、街なか防災訓練等を行うことによって、災害時に迅速な対応を可能とする。 地域の魅力をPRすることにより定住人口の増加を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 住民参加の計画づくり提案事業／事業活用調査） まちづくり専門家の派遣事業（提案事業／まちづくり活動推進事業） 防災まちづくり啓発事業（提案事業／まちづくり活動推進事業） 定住促進広報事業（提案事業／地域創造支援事業）
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業終了後の継続的なまちづくり活動 ○交付期間中の計画管理の方法 ○課題への継続的取り組み 	

<都市再生整備計画の整備方針等>

【記入要領】

・必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。

・「計画区域の整備方針」欄は、目標を達成するために具体的に何をするのかを簡潔に箇条書きするとともに、欄の右にある「方針に合致する主要な事業」欄に、本計画に位置付けられている事業のうち当該整備方針に合致する主要な事業の事業名を記入すること(1つの事業が複数の方針に合致することもあり得る)。

・「その他」欄は、都市再生整備計画に関する事項として、特筆すべき内容があれば記載してください。

・その他記載にあたっての留意事項は、「都市再生整備計画策定の手引き」を参照すること。

交付対象事業一覧

交付対象事業費	4,611.0	交付限度額	1,906.7	国費率	0.414
---------	---------	-------	---------	-----	-------

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路		市道小川新町黒石川北線	焼津市	直	L=52m	H17	H17	H17	H17	28.4	28.4			28.4
		市道北道原中央線	焼津市	直	L=469.7m	H19	H21	H19	H21	36.1	36.1			36.1
		市道小川矢師東川南線	焼津市	直	L=315m	H19	H21	H19	H21	65.6	65.6			65.6
		市道上泓ノ川橋線	焼津市	直	L=27m	H19	H20	H19	H20	75.4	75.4			75.4
公園		立通り公園(街区公園)	焼津市	直	0.17ha	H18	H19	H18	H19	28.3	28.3			28.3
		与惣次公園(街区公園)	焼津市	直	0.20ha	H20	H21	H20	H21	35.0	35.0			35.0
下水道														
河川		準用河川泓の川	焼津市	直	L=232m	H19	H21	H19	H21	137.0	137.0			137.0
地域生活基盤施設		第13自治会コミュニティ防災センター	焼津市	直	RC3階建	H20	H21	H20	H21	180.5	180.5			180.5
		避難誘導標識設置	焼津市	直	11箇所	H18	H20	H18	H20	7.2	7.2			7.2
		祢宜島配水場配水池	焼津市水道局	間	6500㎡	H18	H19	H18	H19	430.4	430.4			430.4
		石津港町排水ポンプ場	焼津市	直	1箇所	H21	H21	H21	H21	80.0	80.0			80.0
高質空間形成施設		シンボル道路整備(小川下小田線植樹・歩道カラー舗装・照明)	焼津市	直	L=600m	H19	H21	H19	H21	39.6	39.6			39.6
高次都市施設		大富公民館	焼津市	直	1500㎡	H19	H21	H19	H21	485.4	485.4			485.4
既存建造物活用事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
都心共同住宅供給事業														
街なみ環境整備事業														
土地区画整理事業		東小川	焼津市	直	15.9ha	H6	H25	H17	H21	484.0	484.0			484.0
		会下ノ島石津	焼津市	直	42.3ha	H11	H27	H17	H21	610.7	610.7			610.7
		焼津市南部	組合	間	166.4ha	S62	H27	H17	H21	1356.2	1356.2			1356.2
合計										4,079.8	4,079.8	0.0	0.0	4079.8

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造支援事業	公立保育所の用地取得	小川保育園	焼津市	直	360㎡	H18	H18	H18	H18	35.0	35.0			35.0
	冠水対策事業(水路・整地)	小川港西側・東小川・会下ノ島石津	焼津市	直	L=95m	H18	H21	H18	H21	50.5	50.5			50.5
	安全避難路整備事業	東小川・会下ノ島石津	焼津市	直		H17	H21	H17	H21	62.7	62.7			62.7
	市民窓口整備事業	大富公民館	焼津市	直		H21	H21	H21	H21	5.0	5.0			5.0
	老朽家屋更新事業	東小川	焼津市	直		H18	H21	H18	H21	256.4	256.4			256.4
	公民館の用地取得	大富公民館	焼津市	直	1799㎡	H19	H19	H19	H19	49.0	49.0			49.0
	老朽施設解体事業	大富公民館	焼津市	直	892㎡	H21	H21	H21	H21	31.0	31.0			31.0
	定住促進広報事業	東小川	焼津市	直		H19	H21	H19	H21	2.4	2.4			2.4
	事業活用調査	地域交流センターの構想策定(大富・小川公民館)	焼津市	直		H18	H18	H18	H18	2.0	2.0			2.0
		住民参加の構想・計画策定事業(コミュニティ防災センター)	焼津市	直		H20	H20	H20	H20	2.0	2.0			2.0
まちづくり活動推進事業	防災まちづくり啓発事業(防災マップ・防災教室)	焼津市	直		H18	H21	H18	H21	5.3	5.3			5.3	
	専門家派遣事業	焼津市	直		H17	H21	H17	H21	29.9	29.9			29.9	
合計										531.2	531.2	0.0	0.0	531.2

合計(A+B) 4611.0

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費	
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度		
焼津市南部土地区画整理事業	焼津南部	静岡県(焼津市南部土地区画整理組合)	国土交通省	166.4ha		○				S62	H27	50,100
焼津市東小川土地区画整理事業	東小川	焼津市	国土交通省	15.9ha		○				H6	H25	6,150
焼津市会下ノ島石津土地区画整理事業	会下ノ島石津	焼津市	国土交通省	42.3ha		○				H11	H27	18,800
住宅市街地基盤整備事業	小川下小田線	焼津市	国土交通省	L=1371m		○				H6	H26	2,140
公園事業	石津西公園	焼津市	国土交通省	4.2ha		○				H16	H21	2,810
合計												80,000

11.52%